

2020年6月1日

会員各位

公益社団法人日本理学療法士協会
会長 半田 一登

新型コロナウイルス拡散による協会事業への影響と今後の対応

会員各位におかれましては、各所において、過去に経験のない苦勞をされていることと拝察します。これまで本会として厚生労働省に臨床実習問題、医療崩壊における理学療法士の働き方等を要望する等の以下の活動を行ってきました。

新型コロナウイルス感染拡大も第2波、第3波が予測されており、「新型コロナウイルス感染症対策本部」を協会内に立ち上げ、今後も積極的に活動を行います。

記

1. 感染予防対策等のこれまで

協会では国立国際医療研究センターの藤谷リハビリテーション専門医に依頼し、理学療法部門としての感染予防の動画を作成・配信しました。また、学会でも分科学会等が総力を挙げて動画を作成し、事細かな感染予防対策の動画を配信しているところです。厚生労働省医政局には感染予防強化に関する要望書を提出しています。

それぞれの職場で診療体制や労働環境に違いがありますので、これら感染予防対策を参考に個人として職場としての自前の感染予防体制を構築してください。

2. 研修会等の今後

現在、9月までの学会や研修会は延期ないしは中止とし、10月以降の開催については7月下旬までに結論を出すこととしています。10月以降早いうちに対面研修が可能になれば、研修会等の開催方法や参加費に関して積極的な工夫をして開催します。

また、今年入会した新人への対応について都道府県理学療法士会と相談し、新型コロナウイルス感染症の収束を待ちます。

3. 2021年度会費等の検討

本会の会費は3月末までに次年度会費を徴収することになっています。そのため、2020年度会費は徴収しましたが、2020年度事業の上半期の停滞は確実な事態になっています。

本会をはじめ殆どの組織が初めての経験をしています。2020年12月迄の事業状況によつては2021年度の会費等を検討します。

4. 理学療法学科学生の教育（臨床実習含む）の課題

理学療法学科在校生、特に来年卒業予定者の学内教育及び総合臨床実習には大きな影響が出ています。卒業後の協会による追加研修を含めて監督官庁と協議します。

5. 2020年度定期総会と臨時総会の開催

本年6月6・7日に定期総会を予定していましたが、現状においては代議員が集合することは困難と考え、必要項目に絞る形でウェブ会議にて開催します。

ただし、新型コロナウイルス感染拡大状況が変わることを前提とし、集合型の拡大組織運営協議会や臨時総会を是非開催し、同感染症問題等について都道府県理学療法士会役員や代議員との意見交換を行います。

以上